

今号の主な内容

- 2面 子ども向け夏のイベント
- 3面 交通事故によるけがで子ども医療証・ひとり親家庭等医療証を使うときは事前に届け出を
- 4・5面 子育てを応援します
子育て支援サービスを紹介
- 8面 平和の大切さを伝えるために
まちなか避暑地のご利用を

広報 しんじゅく

「新活力」で創造する、
やすらぎとにぎわいのまち

平成26年(2014年)

7・5

第2108号



しんじゅくコール

☎(3209)9999 FAX(3209)9900
土・日曜日、夜間もご案内 午前8時～午後10時

発行 新宿区 編集 区政情報課 (毎月5・15・25日発行)
〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 ☎(3209)1111
ホームページ <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>
携帯電話版 <http://www.city.shinjuku.lg.jp/m/>



携帯電話用二次元コード



新宿ゆかりの国民的文豪 新宿区 夏目漱石コンクール

絵画と読書感想文を全国から募集

応募は9月19日(金)まで

新宿区は夏目漱石(1867年～1916年)が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。
『吾輩は猫である』や『坊っちゃん』で親しまれる漱石は、晩年の9年間を過ごした早稲田南町の「漱石山房」と呼ばれた家で、作家として本格的な執筆活動を開始し、『三四郎』『こゝろ』『道草』などを生み出しました。
今回の「夏目漱石コンクール」では、小学生を対象に絵画を、中学生・高校生を対象に読書感想文を、全国から募集しています。あなたの考える漱石の世界を表現してみませんか。
【問合せ】文化観光課文化資源係(本庁舎1階) ☎(5273)4126・☎(3209)1500へ。

絵画コンクール

小学生対象

「猫になって描いてみよう ～わがはいはネコである～」

自分がネコになったつもりで、またはネコの気持ちになって、ネコの目から見た世界を自由に描いてください。

【作品の規定】八つ切りサイズ(27cm×38cm)の画用紙に、鉛筆・色鉛筆・クレヨン・絵の具・マジック・サインペンなどで描いてください。縦横は自由です(立体的でない貼り絵、切り絵、版画も可)。

▼絵画コンクール案内チラシ



読書感想文コンクール

中学生・高校生対象

「わたしの漱石、わたしの一行」

夏目漱石の作品を読んで、自分の心に深く残った「一行」を選び、なぜその一行を選んだのか表現してください。

【作品の規定】縦書きの400字詰め原稿用紙2～3枚(800字～1,200字)に、日本語で書いてください。

▲読書感想文コンクール案内チラシ



ともに創ろう、(仮称)「漱石山房」記念館 夏目漱石記念施設整備基金にご支援を

新宿区では、漱石生誕150周年に当たる平成29年2月の開館を目指して、(仮称)「漱石山房」記念館の整備を進めています。この取り組みに、区民の皆さんをはじめ、多くの方のお力添えをいただきたいと考え、昨年7月に「夏目漱石記念施設整備基金」を設置し、寄付を募集しています。6月26日現在で、

4,299万円(795件)の寄付が寄せられています。

皆さんからの寄付は、記念館の建設と資料の収集に活用します。パンフレット(右下図)と振替払込書は、文化観光課等で配布しています。皆さんのご支援・ご協力をお願いします。



(仮称)「漱石山房」記念館イメージ図



- ★小学1～3年生 最優秀賞は各1名
- ★小学4～6年生 優秀賞は各5名程度
- ★中学生 佳作は各10名程度
- ★高校生 から

入賞作品は(仮称)「漱石山房」記念館に展示を予定しています

【申込み】専用の応募用紙と作品を、9月19日(金)までに新宿区夏目漱石コンクール事務局(絵画コンクールは「猫になって描いてみよう～わがはいはネコである～」係、読書感想文コンクールは「わたしの漱石、わたしの一行」係、〒105-0021港区東新橋2-4-6-7) ☎(5408)1016へ郵送(必着)してください。区文化観光課(本庁舎1階)・特別出張所等で配布する案内チラシの裏面が応募用紙になっています。新宿区ホームページからも取り出せます。

【表彰】12月に表彰式を行います。入賞者には10月下旬以降にお知らせし、副賞として図書カード(予定)を贈呈します。また、応募者全員に参加賞を差し上げます。

※入賞作品は記念館での展示のほか、新宿区ホームページに掲載します。また、入賞作品集を配布する予定です。

※入賞者の氏名・学校名・学年等は公表します。

詳しくは、案内チラシ・新宿区ホームページでご案内しています。